

ゴンドラ

No.12

大坂夏の陣と柏原

慶長 20 年（1615）の大坂夏の陣から、今年（平成 27 年・2015 年）で 400 年になりますが、ここ柏原市でも、小松山の戦いと呼ばれる戦いがありました。柏原市から藤井寺市、羽曳野市を戦場とした戦いは、一般には道明寺の戦いと呼ばれます。その前半部分、柏原市の玉手山周辺で行われた戦いを小松山の戦いとも言います。この小松山の戦いを中心に、当館でも特集展示「大坂夏の陣と柏原」（平成 27 年 3 月 31 日～9 月 13 日）を実施するとともに、市民歴史大学、文化財講座、出張展示など、夏の陣をテーマに、さまざまな事業を実施しました。これら事業への取り組みによって、小松山の戦いの実態がずいぶん明らかになってきたように思います。

小松山とは、柏原市の玉手山丘陵の北端、玉手山 1 号墳のこのようです。この周辺を舞台に、後藤又兵衛が 10 倍近い徳川方と戦い、討ち死にした戦いとしてよく知られています。しかし、当時の記録は少なく、両軍がどのような進路をとったのか、又兵衛がどのように最後を迎えたのか、又兵衛の首が埋められたのはどこなのか、などわからないことばかりです。それらの謎を、少しは解き明かすことができたのではないかと考えています。

また、地元の玉手村の史料には、夏の陣の際に村がすべて焼き払われ、村人は遠くまで逃げたという記録もあります。戦いで亡くなった人や、大きな迷惑を受けた地元の人たちへ思いを馳せることも、たいせつだと思います。戦争は、必ず民衆を巻き込むものなのです。

特集展示は、常設展示室内のコーナーとして設けています。今回のように、柏原市ならではの展示を実施していきたいと思っています。



後藤又兵衛石碑

企画展のご案内

◎平成 27 年度秋季企画展「知恵と技術—大和川のつけかえ工事—」

平成 27 年 9 月 15 日～12 月 6 日

江戸時代の測量技術や土木工事の様子から、わずか 8 か月で完成した大和川の付け替え工事の実像に少しでも迫ってみたいと思います。

◎平成 27 年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たち」

平成 28 年 1 月 5 日～3 月 6 日

毎年開催しているちょっと昔の道具についての展示です。小学 3 年生の学習内容に合わせた展示にしています。

◎平成 27 年度春季企画展「江戸時代の国分村」

平成 28 年 3 月 26 日～6 月 12 日

江戸時代の国分村について紹介します。国分村は奈良街道に沿った村として発展し、文化や学問も盛んだった村です。整理が進んだ国分村の近世文書から、江戸時代の人々の生活、社会について考えます。

※タイトル・期間等は変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。

お知らせ

◎出張展示

平成 27 年 9 月 23 日（水）～10 月 7 日（水） 大阪府立中央図書館 1 階展示コーナー

「大坂夏の陣—小松山・道明寺の戦い—」と題して、地形模型や解説パネルによる出張展示を行います。10 月 3 日には、講演会も実施します。府立中央図書館、市民歴史クラブとの共催展示です。

◎市民歴史大学「大坂夏の陣と柏原」

平成 28 年 1 月 10 日（日） 講師：中井 均さん（滋賀県立大学教授）

平成 28 年 2 月 13 日（土） 講師：北川 央さん（大阪城天守閣館長）

◎史跡高井田横穴特別公開

平成 27 年 10 月 17 日（土） 10:00～15:00 史跡高井田横穴公園

普段は鍵がかかっている横穴を、鍵を開けて公開します。学芸員による説明もあります。横穴公開は、毎年 5 月と 10 月の第 3 土曜日に実施しています。

◎体験教室

12 月上旬に「しめなわづくり」、2 月上旬に「わらぞうりづくり」を行います。

◎刊行物

- ・『亀の瀬の歴史』40 ページ、500 円
- ・『木簡紀行』30 ページ、300 円
- ・『南西尾家文書目録Ⅱ』86 ページ、400 円
- ・『柏原市立歴史資料館館報』27 号 64 ページ、300 円

企画展を終えて

★平成 26 年度秋季企画展「なぜつけかえられたのだろうーほんとうの大和川つけかえ運動ー」

平成 26 年 9 月 13 日～12 月 7 日

観覧者数 11,378 人（個人 1,616 人、団体 9,762 人）

★平成 26 年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たちー火のあるくらしー」

平成 27 年 1 月 6 日～3 月 8 日

観覧者数 2,097 人

（個人 1,181 人、団体 916 人）

★平成 26 年度春季企画展

「亀の瀬の歴史ー大和・河内をつなぐ道ー」

平成 27 年 3 月 28 日～6 月 14 日

観覧者数 2,326 人

（個人 1,686 人、団体 640 人）

★平成 27 年度夏季企画展

「木簡紀行」

平成 26 年 7 月 4 日～8 月 30 日



秋季企画展観覧風景

ミュージアムグッズ

近ごろは、ミュージアムショップの充実した博物館が多くなりましたが、当館のような小規模館では、ミュージアムショップは遥かな夢です。しかしながら、土産がわりに何かしらの記念品を求める来館者もおられます。これまでも、絵はがきや一筆箋などを製作して販売してきましたが、なかなか更新できず、完売後はグッズのない状態が続いていました。そこで、ミュージアムグッズを、毎年一つずつでもつくっていかうということになりました。ところが、これも小規模館の悲しいところで、わずかな年間予算ではつくることのできるものも限られていますので、あまり思い切ったものをつくることできません。

この3年間につくったものは、クリアファイル、缶バッジ型のストラップ、そして一筆箋です。価格は、それぞれ 100 円、150 円、150 円。いずれも高井田横穴群をモチーフにしたもので、横穴の写真や線刻壁画をデザインとして製作したオリジナル商品です。来館者の反応もいいようです。これからも、ミュージアムグッズを充実していきたいと考えていますので、こんなものが欲しい、これがいいのではないかとのご意見や提案がありましたら、お寄せいただきたいと思います。



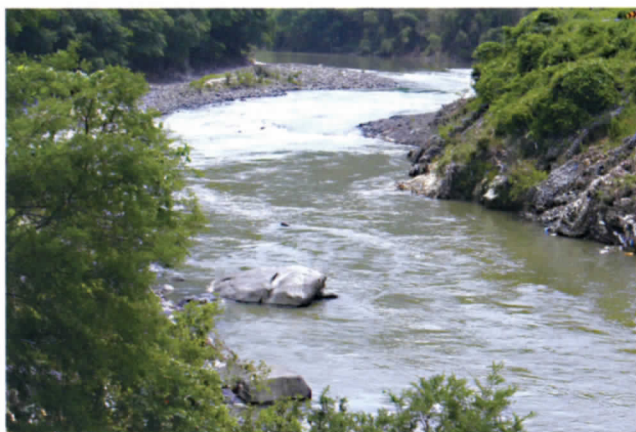
ミュージアムグッズ

亀の瀬の歴史

平成 26 年度春季企画展として、「亀の瀬の歴史—大和・河内をつなぐ道—」を平成 27 年 3 月 28 日から 6 月 14 日まで開催しました。大阪府と奈良県の府県境付近の大和川を亀の瀬といいます。そこは難所であり、地すべりのおこる危険な地でもあります。古くから交通の要衝でもありました。その亀の瀬について、古代から現代までの歴史を紹介するという展示でした。

展示内容は、古墳時代の石室石材の産出・流通、古代の竜田道、江戸時代の剣先船と魚梁船、近代の鉄道と地すべりなどでした。なかでも江戸時代の舟運については、亀の瀬に滝があったことと、舟運を管理する組織が、大和・河内それぞれにあったことなどから、船が亀の瀬を越えることはありませんでした。当然ながら、古代に遡っても、亀の瀬を船で越えることはできなかったのでしょうか。

この企画展は、王寺町、三郷町と三市町共催で実施したものです。亀の瀬を取り囲むように位置する三市町が協力して事業を行うのは初めてのことで、充実した展示ができたと思っています。当館での展示後、三郷町、王寺町でも巡回展示を実施し、それぞれで講演会も開催することができました。今後、府県にとらわれず、周辺自治体との協力を進め、また機会があれば、展示などの事業を共催していきたいと考えています。



亀の瀬



展示風景

—ひとこと—

ゴンドラ第 12 号をお届けします。今年（平成 27 年）は、大坂夏の陣 400 年ということで、各地でさまざまな展示やイベントが実施されています。柏原市でも、市民を中心に、合戦の再現やハイキングなどが行われています。当館でも特集展示として取り上げるとともに、その他の事業や各所での講演・講義などに取り組んでいます。ただ、戦いや武将の華やかな面を取り上げるだけでなく、戦場となった村々や迷惑を被った人々に目を向けることも忘れてたくないと思います。それが、郷土の歴史を考える資料館の役割だと思っています。（Y）

柏原市立歴史資料館 休館日 月曜日（祝日は開館）、年末・年始

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分 入館料 無料

〒582-0015 大阪府柏原市高井田 1598-1 TEL 072-976-3430